

日時：平成30年10月30日（火）15:00～

場所：勤労者福祉センター5階会議室

【議事1】 目標達成に向けて検討する施策について

組織名	質問・意見
岡山市 連合町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で、検討したことを事業者は実行できるのかが疑問。事業者の本音を聞かせてほしいので、次回幹事会では、各事業者が取り組むべきと考える具体施策と役割分担について提示してほしい。 ・時間通りバスが運行されたからと言って利用するかどうかは疑問。それよりも、近くに駅やバス停がある、またはそこまでの足を確保することの方がこれからは重要。
岡山市 障害者団体連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバス導入率が政令市の中でも低い。再編などで便数が増えるかもしれないが、ノンステップバスの割合が心配。
岡山市 連合婦人会	<ul style="list-style-type: none"> ・「料金がわかりにくい」「乗り継ぎするときに高くなる」という点があるので、利用者にとってメリットのある運賃体系、割引などを検討してほしい。
岡山商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・論点はすばらしい。ただ、誰が指揮を取るのか見えてこない。まずは、できることから1つずつ議論を進めていくべき。
宇野自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線・支線への再編については、バスの定時性が確保されていない状況で、乗継拠点でのスムーズな乗り換えが可能か疑問。行政は、交差点改良にもっと取り組んでほしい。宍甘交差点から東は廃止したいと思うくらい憤っている。 ・駅を拠点とした再編については、例えば、四御神線は、駅ができたことで利用者が大きく減少しており、東岡山駅や高島駅で折り返し運行になれば、事業者としては助かるが、利用者はおそらく困るのではないか。実験はやってみてもよい。 ・ダイヤ調整に関しては、後楽園バスでは、宇野バスがで運行しているところへ、岡電バスがその5分前に入れてきたというのが現実。 ・運賃設定については、政治家を使って路線を被せてきた競合他社に不採算で撤退してもらおうよう、最低運賃など経営努力をしている。そういった背景もあるので、これから一緒に、と言われても難しい。 ・障害者や愛カード等の料金割引は、100%事業者が負担している。ICカードで履歴をとって、割引分を市が補てんすることを、割引サービスの拡張とあわせて検討してほしい。
両備ホールディングス	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク再編の一環として、東山電停や清輝橋電停でのバスと路面電車の乗り継ぎ環境を整備してほしい。 ・運賃設定については、国の強力な指導の下、自社のネットワークを維持できる水準が求められてきたため、運賃の低下が続くと経営が圧迫してしまう。 ・障害者などの割引は全て事業者が負担しており、苦しくなっている。行政が負担している自治体も県内にある。
岡山電気軌道	<ul style="list-style-type: none"> ・岡電バスの藤原団地線・後楽園線は、20分おきのダイヤを設定しているので、一部、30分おきの宇野バスの5分前・5分後に到着する便がある。以前、中鉄バスとは競争していたが今は共同運行。ちゃんと話し合う場があれば、ダイヤ調整なども可能だと考えている。 ・ノンステップバスについては、走行できない道路もあるので、全便で導入するのは難しいが、少しずつ増やしていこうと考えている。

岡山市公共交通網形成協議会 第1回幹事会 発言要旨

日時：平成30年10月30日（火）15:00～

場所：勤労者福祉センター5階会議室

【議事2】岡山駅東口広場バス乗り場について

組織名	質問・意見
橋本准教授	・かなり時間をかけて方面別化をして、利用者にとってもわかりやすくなった。乗入れる場合は10番ということだと思う。
岡山市 連合町内会	・過当競争になって路線がなくなるのは困る。乗り入れることでどのような影響が出るのか、事業者の詳細な資料を出してもらわないと判断できない。
岡山商工会議所	・方面別化の観点からは10番が望ましい。他の乗り場だと利用者が混乱する。
宇野自動車	・めぐりん益野線が乗入れた場合、八晃運輸には運転手の教育を徹底してもらいたい。 ・10番がダメだというなら、11番に乗り入れてもらってもかまわない。 ・路面電車を乗り入れようとしているのに、なぜ新規バス事業者の乗り入れは反対なのか。自社利益が前に出すぎではないか。
両備ホールディングス	・どの乗り場に乗り入れるのではなく、めぐりん「益野線」の乗り入れそのものに反対している。これ以上競争を拡大させないことと、運賃の正常化が重要である。 ・西大寺線の収益で赤字路線18路線を維持している。乗り入れられれば、さらに競争が激化して、影響が拡大される。この協議会は、そういうことを抑えるためのものではないのか。 ・八晃運輸は、循環線の便数を半減し、要望のない路線に参入している。循環線のお客様を蔑ろにしての参入で、これが利用者目線なのか。 ・10番乗り場はラッシュ時2～3分刻みで運行していて、常時バスが発着している状態である。安全性が保たれなくなり、トラブルが起きる。
岡山電気軌道	・安い運賃設定や、儲かるところだけに参入するなど、路線の良いところ取り（クリームスキミング）をされると、黒字路線の利益で支えてきた赤字路線は切っていくかといけないう議論をしてきた。この問題については、ここでも議論してほしい。
八晃運輸	・めぐりん乗り入れは市民目線、利用者目線で考えていただきたいと過去5年間言ってきた。この議論は、バス事業者の協力体制を敷くことができるかどうかの試金石になる。

【次回までの検討事項（第1回検討会の議論を踏まえて）】

- ① 目標達成に向けた施策の検討 <交通事業者、岡山市>
- ② 岡山駅東口へのめぐりん益野線の乗り入れに関する再検討 <岡山市>

